

人と犬との
関わり方

「咬みつきの抑制について」



エヴァーグリーン・ドッグ・フィールド
代表 森 一彦

犬同士の遊びは狩猟本能に基づいており、その遊びを通して犬同士の社会化が行われます。大抵の犬は犬同士で追いかけて、取っ組み合い、そして咬みつきの遊びをします。犬同士の相性によっては延々と果てしなく咬みつきの遊びが続けられることもあります。これは犬が先祖から受け継いだ狩猟の本能から来る行動であり、遊びが高じて本気の咬み合いにならないようにお互いの社会性を高めるものであり、まったく健全で正常なものであると言えます。こうした遊びを通じて、犬は咬んでよい力加減を学習する訳ですから、兄弟犬とのこうした遊びが充分に出来ないうちに、家庭に迎えられた子犬の場合には飼い主がこの咬み加減を学習させてやらないと、その子犬は自分の歯の力を自覚出来ずに成犬になってしまいます。ですから飼い主は咬みつきの遊びを通して、子犬に咬みつく機会を与え、自分の力を自覚させなければなりません。



遊びのやり方を説明しますと、先ず子犬に飼い主さんの手をくわえさせて、相手の出方を見ます。子犬が顎に力を加えて強く咬んだ瞬間に、飼い主はおおげさに「痛い！」と叫んで、まるで殺人鬼でも見るように子犬を睨みつけて部屋から出て、子犬を一人ぼっちにします。1〜2分して部屋に戻ったら、また同じ遊びを繰り返します。この遊びを繰り返して、強く咬んだら飼主に遊んでもらえなくなることを子犬に学習させます。この方法を一緒に生活している家族全員が参加して同じルールで般化することが望ましいのですが、幼い子供だけは参加させないようにします。何故ならば、子供は犬の前でありとあらゆる「してはいけないこと」をするからです。大声をあげはしやぎまわり、ちよこちよこ動き、転倒し、咬みつかれると面白い反応をしたり、手負いの動物とそっくりな動きをするので、犬の狩猟本能に火をつけてしまうのです。だから子犬にやさしい咬みつきの方を教える事は子供に出来ることではないのです。ドッグランでも子供を犬と遊ばせる時には、事故が起きないように大人がしっかりと監視し、犬が興奮してきたら子供を犬から遠ざける必要があります。最初から咬むことを一切禁じること、厳しい罰を伴ったトレーニングを行わない限り出来ないことなので、子犬が「強く咬みたい」という欲求を抑えられるようになったら次は「たえそつとでも人を咬んではいけない」事を教える段階に進みます。子犬が軽く咬んだときに、「触るな」という指示を教え、咬んでもよいおもちゃに誘導することを繰り返すと、子犬は人には絶対に歯

を当ててはいけないうことを理解するようになります。成犬の場合に効果が高いのは、手から直接食べ物を与える方法です。この時は手のひらの上にフードを載せるのではなく、指先でドッグフードの粒をつまんで犬に与えるようにします。この時に犬の歯が当たったら「痛い！」と叫んでフードを取り上げてしまいます。歯の当て方が許容範囲であったとしても犬の歯が少しも当たったらフードを与えないようにします。こうやって咬み癖をしっかりと抑制するようにします。また歯磨きの習慣をつけることも咬み癖の抑制になります。毎日歯の手入れをしてやることによって、犬は口の中に人の手が入ることが平気になり、歯磨きをするたびに犬は飼い主の手に歯を当ててはいけないうことを思い出すからです。又、「引っ張りっこ」や「もつてこい」も犬が微妙な咬み加減を覚えるのに適した遊びです。この時も犬がおもちゃを取ろうとして誤って飼い主の手に歯を当てたら、必ず「痛い！」と大声で叫んで遊びをすぐに中断することが大事です。今回はジーン・ドナルドソン著「ザ・カルチャー・クラッシュ」から咬みつきの抑制の仕方をお伝えしました。



遊ぶ 学ぶ かかわり合う...Wan倶楽部
Evergreen Dog Field
 ドッグラン・ドッグカフェ・飼い方相談
 福島県郡山市熱海町高玉字抜山1-1 磐梯熱海ICから約6分
 ☎024-994-0811 | エヴァーグリーン・ドッグ・フィールド | 検索
 福島県19郡(保健第21号・訓練第5号(有)Evergreen Dog Field
 登録年月日H19年4月6日 有効期限の末日H24年4月5日 動物取扱責任者 森一彦